

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	53	学校名	仙台市立鶴谷東小学校	校長名	千葉 文枝
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

～自分たちにできることを考え、
自然を大切にしよう～



2 取組の紹介

(1) 鶴東クリーンプロジェクト

今年も、学校と保護者、中学生、地域の方々と協力して鶴東クリーンプロジェクトが行われました。本校は校地内に多くの樹木があり、秋になるとたくさんの落ち葉で通学路や校庭が埋め尽くされます。

1・2年生は、校地内の落ち葉を、3～6年生は保護者、地域の皆さんの御協力もいただきながら校地外の落ち葉拾いをしました。どの学年も、袋いっぱい落ち葉を詰め込み、一生懸命活動していました。集めた落ち葉は校舎裏の一角所に集め、腐葉土として次年度に活用しています。



(2) 再生紙ボックスを利用した古紙回収と花壇の整備

飼育環境委員会では、手作りの古紙再生ボックスを設置し、学級で余ったプリントを集めています。委員会での活動が始まる前に、飼育環境委員会が各教室を回って回収しています。毎月の委員会活動では、花壇の水やり、落ち葉拾いや草取りを行っています。子供たちだけでなく、保護者や地域の人を通ったときにも、「きれいだな」と感じてもらえるように、一生懸命整備しています。



(3) 金魚・スズムシの飼育

学校のため池では、金魚を飼育しています。えさやりは、飼育環境委員会が当番を決め行っています。昇降口に近いので、子供たちは登下校時や休み時間にも金魚を気に掛けています。また、今年度からスズムシの飼育を始めました。スズムシは、春頃ふ化し、脱皮を繰り返しながら大きくなります。夏は雄が「リーンリン」ときれいな鳴き声で雌を誘い交尾をします。交尾を終えた雌は、卵を100個ほど産んで一生を終えます。そして、冬越しをしてふ化し、命をつないでいきます。これからも学校にスズムシのきれいな鳴き声が響き渡るよう、大切に飼育していきます。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

鶴東クリーンプロジェクトは、本校で何年も行っている行事です。意欲的に取り組む児童が非常に多く、毎年たくさんの落ち葉を拾っています。中学生や地域の人と一緒にいるので、普段顔を合わせることのない人たちとも交流ができ、親交を深めることができました。

花壇の整備では、誰のためにやるのか、目的をはっきりと設定することで、意欲的に活動に取り組む児童が増えました。

金魚やスズムシの飼育では、全校生徒が生き物に親しみ、生き物を大切にしようという心を育むことができました。